

ティーチング・アシスタントを担当する皆さんへ ～ TAの心得 ～

平成28年12月
東 京 大 学

「東京大学ティーチング・アシスタント実施要領」では、ティーチング・アシスタント(TA)の趣旨として、「将来教育研究の指導者となるためのトレーニングの機会提供」、「大学教育の充実」を謳っています。「TAの心得」では、この実現に向けて、TAを担当する皆さんに知っておいてほしいこと、伝えておきたいことをまとめました。

ティーチング・アシスタントの意義

教育補助者として

TAの業務には、比較的単純な業務から、実験実習等における学生への助言、グループワークの円滑化といった授業の実質的な補助・支援に関わる業務など、様々な内容が含まれています。実際の業務内容は、担当する授業科目等によって異なりますが、いずれの業務も、授業を円滑に進めるために必要なものです。TAは教育補助者であり、教育の一端を担っているということ十分に自覚してTAを担当してください。



将来に役立つ経験として

TAは、教育補助者としての役割に加えて、将来教育研究の指導者となるためのトレーニングとしての側面を有しています。TAは、学生が一定の対価を得て行う教育体験を伴う活動であり、一般的なアルバイトとは同列ではありません。TAの皆さんは、TAとして教える側に立つ体験を通して、授業の組み立て方や運営の仕方を理解し、ものの見方や考え方を違った角度から捉えることができます。また、東京大学において多種多様な教育プログラムに携わることができることもメリットの1つでしょう。TAの皆さんは、このような機会をうまく活用するとともに、自分が成長できる場でもあるという意識を持ってTA業務に臨んでください。

TA業務にあたっての留意事項

業務内容の把握、教員との意思疎通

- ◇ TA業務は様々であり、期待される役割は、授業科目や担当教員ごとに異なります。TA業務を行うに当たっては、担当教員との打合せ等を通して、自分が果たすべき役割を十分理解するとともに、業務内容を確認するようにしてください。
- ◇ 担当教員への報告・連絡・相談を確実にを行い、円滑な業務の遂行を心掛けてください。
- ◇ 事前の講習や研修等の機会がある場合には、必ず参加しましょう。特に、実験・実習、フィールドワークなどの業務については、事故等が起こらないよう、担当教員やスタッフの指示、安全マニュアル等に従い、安全の確保に努めてください。



TAとして相応しい行動

- ◇ 授業を受ける学生は、TAを教育者の一員として見ています。服装、身だしなみ、言葉づかい、態度、時間の厳守など、教育者としての自覚と常識をもって行動してください。
- ◇ 差別的、高圧的な言動や指導、ハラスメントに繋がるような行為は厳に謹んでください。また、学生には公平に接してください。



個人情報の取り扱い

- ◇ 業務上知り得た学生の個人情報（成績や連絡先など）を、TA業務以外に利用してはいけません。特に学生のプライバシーに関する情報を外部に漏らすといったことがないように細心の注意を払ってください。
- ◇ ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）での不用意な発言による情報流出にも十分に注意してください。



上記のほか、個別の留意事項については、各学部・研究科、学科・専攻等の指示に従ってください。